

SSKP

2020年11月

# はれのちくもり

第129号

別冊ピアス通信 第49号

この通信では、ピアス（就労移行支援事業・自立訓練（生活訓練）事業・就労定着支援事業）のトレーニングやイベントを中心に、「働く」ことに関する情報を発信していきます。

## 当事者のちから

ピアス 長野 志保

棕櫚亭にはいろいろな当事者活動があります。

なかでも、自身の経験を振り返り、次に続く「これから働きたい」と思っている人に対しメッセージを伝えていく取り組みは、そこには悲壮感ではなく明るさと力強さがあります。

私が棕櫚亭に入職して驚いたのはメンバーの明るさでした。病気や障害を抱えながら訓練しているメンバーは、ピアスに通っていると段々と元気になっていく。働く先輩の姿を見、苦労を共にする仲間と出会い、体を動かし懸命に作業しながら自分と向き合う時間を通して自信がつく—後に知りました、これが「ピアスマジック」だと。笑顔が増えたメンバーは、その自信を持ってピアスを卒業し働き始めます。働くのは生易しくはありません。ときに孤独を感じ、うまくいかなさに悩むこともあるでしょう。しかし、その荒波を乗り越えさらに強さを手に入れた当事者が語る言葉は、他をも元気にさせる力強さが加わっています。私達は、その言葉や姿に触れると何かをもらった感じがするのです。それも後に知りました、それが「ピアスのバトン」だと。バトンを受け取った当事者が、時を経てバトンを渡す側になる。それはピアスが大事にしている日常で、そこには見えない当事者同士のつながりがあるのです。



具体的な場面としては、オープナーの当事者セミナーは大舞台ですが、ピアスでも就労プログラムで行う4分間スピーチ（プレゼン）であったり、就職時のあいさつ、見学対応はじめ外部の方へ話す機会等々多くあります。いつも好評で、聞き手の心に響きます。メッセージを受け取るのはメンバーや学生であったり、「これから働きたい」と考えている当事者であったり、立場は様々です。でも皆、語り手の明るさと力強さに触れると、自身と向き合う力がわき、先へ進めと背中を押してもらおうようです。これは支援者が多くの言葉を重ねるよりも、何にも代えがたいものになっています。

そして、「語る」は簡単ではないはずなのに、不思議と語り手にも好評です。病気を抱えてきたことを含め、生に経験してきた過去を振り返り、それを糧にしてやってきた今、そしてゆく先の希望へストーリーを紡ぐには、大変な力が必要です。その力は時間をかけやってきた自信が源なのでしょう。メンバーの語る言葉が次第に増えてくることを何度も目の当たりにしてきました。「やってよかった」と思ってもらえることが、支援者として微々たる力添えが出来た、と感じる瞬間でもあります。

過去から現在、そして未来へ。目まぐるしく日常は過ぎ行きますが、メンバーからメンバーへ、そして本人の中でも—ピアスのバトンが延々渡り、見えないつながりでつながっていく。そこには当事者のちからが確実に在ります。これからもそんな日常を大切に、日々を見守ってゆけたら、と思います。

## ピアスメンバー、OBの活躍

ピアスでは、自身の活動を伝える機会がたくさんあります。日常的には見学対応であったり、就労プログラムの4分間スピーチ（プレゼン）であったり。今回、病院デイケアで行った出前講座、専門学校の学生さんの授業、ピアスの就労プログラムで講演してくれた3名の活躍を紹介します。

10/23（金）

根岸病院デイケア 出前講座

Mさん

### Mさんの感想

いつもやらせていただいているのですが、本当に貴重でステキな体験をさせていただいてありがたく思っています。プレゼンをやる前は、かなり躊躇しますが、やり終えた後のあのなんとも言えない達成感はやみつきになっています。そして毎回「逃げなくて良かった。」と心から思っています。また、リスナーの方の心を少しでも動かされたことを知った時も非常に嬉しいです。

今回は病院デイケアで行われている『就労プログラム・はじめの一步』の一環としてピアスとオープナーで出前講座に行ってきました。就労にちょっと興味を持っている方のプログラムになっています。デイケアに通っている皆さんに働くために必要な力やピアスで行っている準備訓練を知ってもらおうと3回シリーズで行いました。

その3回目にピアスのOBであるMさんに、「働く当事者の話」をしてもらいました。ピアスの頃の話から働き始めて変わったことや意識していることなどが盛り込まれたお話でした。デイケアの皆さんからもたくさん質問が飛び出し、Mさんのエネルギーがデイケアの皆さんに伝わったのでは、と思いました。（スタッフ 野口）

（当日のお話より）

仕事を長く続けられているコツについて…

オープナーとピアスの担当者さん方々にたくさんの愚痴を聞きまくっていただいているためです。このことについても毎回なのですが、面談後ピアスの建物を出て非常にスッキリとして、心が軽くなる気がしています。また、アドバイスをいただいたり、思考の軌道修正をしていただくことによって、「さあ明日からも頑張るか！！」という気持ちを奮い立たせていただいているとも思います。そして、「いただいたアドバイスを明日から実行にうつすんだ！！」とも思うことによって、次の日も出勤できているとも思います。しかしながら、面談の次の日に会社に行きたくない日もやはりありますが、担当者さん方々のユーモア溢れる発言を思い出してマスクの下で笑いを押し殺すことによってお仕事をやり、1日1日が経ち、一年以上働けているのではないかと思います。

11/13（金）

YMCA医療福祉専門学校  
村井さん

### 村井さんの感想

初対面の人に話す機会はあまりなく、zoomによる面白さや新鮮さがありました。やってみて全く緊張することなく一人一人にきちんと伝わったと感じています。終わったあと、気分が良かったです。自分のことを伝えるのは発散につながるということや話したことが学生さんの役に立つといいなと感じました。あらたな発見として「自分のことを話すのが好き」という一面を見つけることができ、自然と笑顔が出ました。

同じ国立市内にあるYMCA医療福祉専門学校作業療法学科の授業の一環として、スタッフからはピアスの概要とメンバーからはこれまでの経験等の講演を行いました。

今回は就労移行の入所から1年3か月経った村井譲さんにお話をお願いしました。

この取り組みはYMCAの学生さんにとって、実際に就労に取り組んでいるピアスとメンバーの話を直接聴いて授業だけではわからない「実際」を学ぶ機会となっているようです。ピアスにとっても同じ地域で活動している方々に、福祉のことやピアスのことを知ってもらおうよい機会となっています。

今回はコロナの影響もあり来校しての講演ではなくzoomでの参加になりました。

村井さんが話をしていく中で自分の振り返りにつながり、ピアスで積み上げてきたことを学生さんに届けることが出来ました。

ピアスでのトレーニングを積み重ねてきた村井さんだからその言葉となりましたし、参加した学生さんも村井さんの変化を感じることが出来る時間となりました。（スタッフ 浅野）

（当日のお話より）

『ピアスでの変化や気づきについて』

「入所時は甘さがありスタッフに頼っていました。今は頼るではなくて相談できるようになりました。丸投げしなくなりました。当時の不安とは違い現在は、就職に向けての不安があります。また、今のピアスでは良いことも悪いことも毎日楽しく感じています。何か困ったことがあればスタッフだけでなくピアスの中で一番言いやすい人に相談するようにしています。」

11/20(金)

就労プログラム「OBの話」

M 澤さん

M澤さんから感想

すごく緊張しました。そして、聞いているみなさんからの質問が鋭かったです。自分と関連付けて質問をしてくれてよかった。

今回はこのような場を設けて聞いてくださり、ありがとうございました。この発表を取り組むに当たって、忘れかけていたことや大事なことを振り返る良い機会になりました。また、仕事のモチベーションを保つことや、初心に帰るという意味でも振り返ることで考え直すこともできました。

就労プログラムでは、働いているピアスOBに語ってもらう機会があります。「ピアスに来るまでのこと」であったり「ピアスでどんな準備をしてきたのか」であったり。そして、実際に働いてみると、どんな喜びと苦労があるのか。そのリアルな声が、現在訓練中のメンバーに響くのです。

今回は、現在の職場で約3年働いているM澤さんにお話をお願いしました。今回は特別に、スタッフが職場へ訪問し、実際に働いている姿をビデオに撮らせてもらったり、職場の方からもメッセージをいただいたりもして、内容は盛沢山でした。

当日、音響の不備はありながらも、真剣に話すM澤さんとそしてその思いに応える現役メンバーの「バトンの受け渡し」を見て、このコロナ禍ではありますが、明るい兆しを感じました。（スタッフ 長野）

（当日のお話から抜粋）

くにたち苑実習中、当日にお休みをするということをしてしまいました。その時は、悪化サインに加え、体調を崩し始めているサインでもありました。

ピアスに行き、体の異変や大変なことを話しました。そこで、発信をしなかったこと、また、自分の役割を放棄して周りに迷惑をかけてしまうまで、自分が体調を崩すサインを見逃してしまったことがうきぼりになりました。それから、くにたち苑の期間も延長し、かなりの期間をくにたち苑で発信しながら取り組んでいきました。相変わらず、ピーっという乾燥機の音には慣れませんでした。ピアスを離れてもくもくとやっている自分に満足するようにもなりました。また、人に役立っているという実感も得られ、働くってこういうことか、と充実感を得られるようにもなりました。

会社のこと、入所前のこと、ピアスのことと3つのお話をされましたが、特にピアスで取り組み役に立ったこと、やっておけばよかったことが印象に残りました。とても良い発表で、自分も将来OBとしてあれくらいプレゼンが出来たらなあと思いました。（倉林さん）

やはり「徐々に徐々に慣らし力をつけ自分を知っていく」というのが大事なのだと確認出来たので、お話を聞いて良かったと思う。報連相を磨いておいて、会社の人に要望する力もつくというのが新しく気づけた。大変な状況も相談次第で何とでも出来ると思っておけば、今から緊張することもなくていいかな、と思う。（高橋さん）

ピアスメンバー  
の感想

話を聞いて、これから特に相談・発信をやりたいです。あいさつはしっかりしようと思いました。しっかりすれば、それだけでも印象が変わり、人間関係も変わるかもしれないと思いました。（上妻さん）



## ◆ピアスからのお知らせ◆

～ 定着支援事業をご利用のみなさまへ ～

このピアス通信が届くころ、社会状況はどうなっているでしょうか。11月半ばからコロナ感染者数が増え、都の警戒レベルも引き上げられました。「第3波」と呼ばれるような状況で、みなさんの健康と安心を守っていくためにも、今一度支援の方法を工夫しなければいけないと考えます。

10月11月のOB会では、久しぶりにピアスで直接顔を合わせ、「やっぱり会える方がいいね」と言っていたのですが、12月はオンラインOB会（zoom）を開催する予定です。法人でも、休日のプログラム開催や夕方遅くの来所による面談について見直しをしています。みなさんにご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ご協力をお願いいたします。

ピアスだよりを月2回ほどメールで配信しています。そちらへの返信とリクエストもお待ちしています！

### ●今後の予定●

12月12日（土） オンラインOB会（zoom） 10:30～

※OB会は、毎月第2土曜日の午前中に開催しています。今後の予定にぜひ入れてくださいね。12月のオンラインOB会についての詳細は、後日メールでお知らせいたします。

12月26日（土） フォローアップCES 10:00～

～ その他のお知らせ ～

多摩棕櫚亭協会では、新型コロナウイルス感染症防止として、法人建物入り口にアルコールスプレーの消毒液を置いています。手洗いも含め、入館時の手指消毒のご協力をお願いしています。また、来館者の記録のため、入館の際は、お手数ですが来館者名簿への記入をお願いしています。今後も建物内の人数が密になることを避けるため、面談の変更や訪問の延期をお願いすることがあります。今後も安全にみなさまにご利用いただくため、重ねてご協力をお願いします。

### ○編集後記○

今年最後のピアス通信となりました。見返してみると、東京オリンピックがあるぞ、と始まった新年のあいさつから、よもやこんな年末を迎えるとは思いませんでした。いろんなことがあったような、なかったような、不思議な一年です。でも、悪いことばかり考えては気が滅入るので、出来る範囲でしのいだり楽しんだり。そんな別の強さを身に着けた1年だったかもしれません。それではみなさん、寒さも厳しくなってきました。ご自愛のほどを。（長野）



ホームページで最新情報をお届けしています。

→ [www.shuro.jp](http://www.shuro.jp)

または『棕櫚亭』で検索！



社会福祉法人

多摩棕櫚亭協会



【編集】 国立市富士見台 1-17-4  
社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会  
就労移行支援事業所ピアス内  
はれのちくもり編集委員会

Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人  
障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0072 世田谷区祖師谷 3-1-17-102  
Tel 03-6277-9611

【定価】 100円